

もちだ こふんぐん

持田古墳群は、高鍋町を西から東へ流れる小丸川おまるがわの左岸にある85基（前方後円墳9基・帆立貝形古墳1基・円墳75基）の古墳群です。標高約50mの台地と5m前後の沖積地にあり、4～6世紀にかけてつくられました。昭和36（1961）年に国の史跡に指定されました。

持田古墳群は、昭和初期に大規模な盗掘を

受け、掘り出された遺物（出土品）のいく

つかは県外に流出してしまいました。

しかし、その後の追跡調査によって、

銅鏡や勾玉などの玉類が豊富に

あったことが判明しています。

現在は、地域住民によって

草刈や古墳祭が行われ、古墳時代から

残る景観を間近で見ることができます。

発行：高鍋町教育委員会

住所：高鍋町大字上江 8335 番地

電話：0983-23-3326

FAX：0983-21-1681



高鍋町は、持田古墳群の「世界文化遺産」登録をめぐっています。

高鍋町の持田もちだにのこる1600年前の景観

そこは、今から遠い昔、1600年前の古墳時代につくられた景観が残る場所。

そこに足を運べば、遙か昔の古墳時代を生きた人々が見ていた景観を、今も目にすることができ

国指定史跡

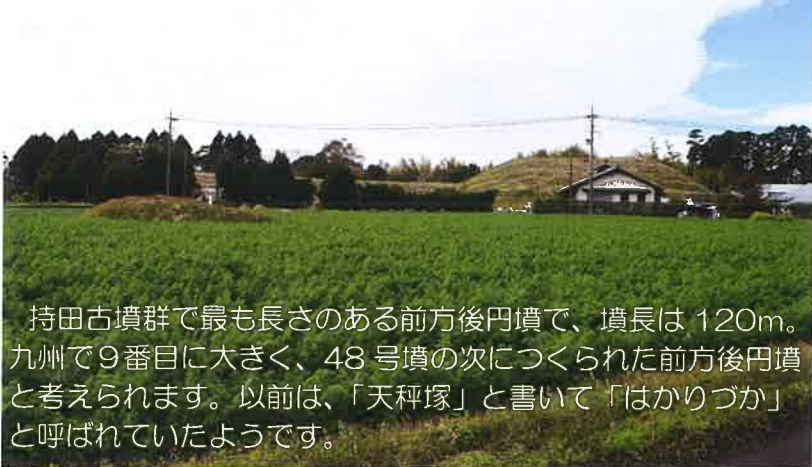
もちだ こふんぐん  
持田古墳群





持田古墳群（主群部）を  
空から見てみよう！

1号墳（計塚）



★1号墳出土 銅鏡  
（獣文縁獣帯鏡）

高鍋町歴史総合資料館に  
展示してあるよ！  
見に来てね！



15号墳出土 舟形石棺

15号墳（石舟塚）



26号墳（山の神塚）



★26号墳出土  
三葉環頭大刀柄部



\*測量図は『宮崎県史叢書 宮崎県前方後円墳集成』（宮崎県）をもとに一部加筆。

48号墳



持田古墳群は「高鍋町古墳を守る会」を中心に、古墳の草刈が行われます。秋には古墳の周囲に植えられた可憐なコスモスに見守られながら、神事を中心とした古墳祭が開催されます。

★マークの遺物（出土品）は、宮崎県教育委員会が所蔵しています。